

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

自宅から近く通いやすい場所にあり、オープンキャンパスで大学を訪れた時、施設がとても綺麗で充実しており、国家試験までのサポートも手厚いところに惹かれたからです。

受験勉強の進め方【1学期】

高校1、2年で習ってきたことの復習を重点的に勉強していました。初めは受験生としての自覚はあまりなく、毎日机に向かい勉強するということや、電車での通学時間に単語帳を開くといったことを習慣付けることに苦戦していました。

学校の授業で学んだことは全て忘れないようにと集中して聞くということも意識していました。この頃から同志社女子大学の入試で必要になる科目を集中して勉強していました。

受験勉強の進め方【夏休み】

マーク模試で必要な受験科目で7割をとるということも目標にしていました。河合塾のマーク式問題集を使い、共通テスト対策もかねて勉強していましたが、なかなか思うような結果が出ず、ただ時間だけが過ぎているように感じる不安な日々を送っていました。また今まで受けた模試の直しをして、同じまちがいを繰り返さないようにしていました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

少しずつ模試で結果がではじめたのは夏休み明けから冬休みの時でした。

同志社女子大学の過去問を解きはじめたのもこの頃で、問題に慣れてくると点数が安定していき間違えたところは何回も解きなおしていました。過去問の結果は気にせず、どこをなぜミスしたのかを考え、同じミスは二度としないように注意していました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

問題集は買いすぎず、一冊を最後までやるといった事を意識していました。

疲れてしまった時は散歩をして季節の変化を楽しんだり、ジブリのサウンドトラックなど歌詞のない曲を聴きながら勉強していました。登校日に学校で友人と喋るのもいい気分になりました。

夜に勉強するため遅くまで起きていても上々いかないことが多かったため、早寝、早起きを目指していました。

受験生のみなさんへ

自分のミスを客観視し、分析することで落ち着いて勉強ができるようになります。

不安なことも多いと思いますが、自信をもつて頑張ってください。

